



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月13日  
東

上場会社名 株式会社第一興商 上場取引所  
 コード番号 7458 URL <https://www.dkkaraoke.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 保志 忠郊  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 西原 康尚 (TEL) 03 (3280) 2151  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月29日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	162,950	6.5	17,917	△0.2	18,265	△0.7	15,889	△12.6
2025年3月期	153,020	4.3	17,945	△3.5	18,396	△6.0	18,178	44.6
(注) 包括利益	2026年3月期		15,208百万円(△19.2%)		2025年3月期		18,828百万円(41.8%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	153.38	152.91	13.2	8.5	11.0
2025年3月期	172.56	172.09	16.2	8.7	11.7

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 一百万円 2025年3月期 一百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	220,445	125,349	56.1	1,196.01
2025年3月期	209,316	117,862	55.6	1,113.36

(参考) 自己資本 2026年3月期 123,640百万円 2025年3月期 116,333百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	25,096	△11,041	△7,196	48,475
2025年3月期	24,656	△11,445	△20,901	41,584

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	28.00	—	29.00	57.00	5,969	33.0	5.4
2026年3月期	—	28.00	—	39.00	67.00	6,926	43.7	5.8
2027年3月期(予想)	—	34.00	—	34.00	68.00		57.6	

2026年3月期 期末配当金の内訳 普通配当29円00銭 記念配当10円00銭 (創業55周年記念配当)

## 3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	82,800	3.1	8,800	4.4	9,000	4.6	5,800	△5.2	56.11
通期	168,700	3.5	18,500	3.3	18,900	3.5	12,200	△23.2	118.01

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有  
 新規 2社 (社名) ㈱トーニン、トーニンビル管理㈱  
 除外 2社 (社名) ㈱東静特機、㈱Airside
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期	103,968,400株	2025年3月期	109,468,400株
② 期末自己株式数	2026年3月期	591,507株	2025年3月期	4,980,507株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	103,595,948株	2025年3月期	105,345,076株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	116,745	7.6	14,192	1.9	15,488	2.7	11,379	△28.4
2025年3月期	108,483	2.0	13,933	△1.7	15,076	△10.3	15,903	38.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	109.84	109.50
2025年3月期	150.97	150.55

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	174,949	65,922	37.4	633.21
2025年3月期	171,403	62,627	36.3	594.94

(参考) 自己資本 2026年3月期 65,459百万円 2025年3月期 62,163百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 5「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。
- 決算補足説明資料は、本日、TDnet及び当社ホームページに開示しております。また、当社は2026年5月21日に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催日までにTDnet及び当社ホームページに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(連結損益計算書)	8
(連結包括利益計算書)	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2025年4月1日～2026年3月31日)におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善に伴い、景気は緩やかな回復基調となりましたが、海外経済の減速による影響や物価上昇、金融政策の変化など、先行き不透明な状況が続いております。

当カラオケ業界におきましては、主力市場であるナイト市場・カラオケボックス市場を中心に、全体として緩やかに需要が改善するなかで、各商圏の中心地における事業者同士の競争は活発化しております。

このようななか、各事業におきまして諸施策を実施した結果、当期の業績は、売上高は過去最高となる162,950百万円(前期比6.5%増)となりました。利益面におきましては、人件費のほか、DAMの新フラッグシップモデル発売に関連するプロモーション費用、本社移転費用などの販管費が増加した影響により、営業利益は17,917百万円(同0.2%減)、経常利益は18,265百万円(同0.7%減)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前期に比べ、固定資産売却益などの特別利益が増加した一方で、前期にあった繰延税金資産の積み増しが剥落したことにより、15,889百万円(同12.6%減)となりました。

(百万円)

	前期	当期	対前期増減	増減率
売上高	153,020	162,950	9,930	6.5%
営業利益	17,945	17,917	△28	△0.2%
経常利益	18,396	18,265	△130	△0.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	18,178	15,889	△2,288	△12.6%

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(業務用カラオケ)

当事業におきましては、成長市場であるエルダー市場を中心に、全体として緩やかに改善が進み、当期末のDAM稼働台数は前期末と比べ微増となりました。

そのようななか、4月に5年半ぶりとなるDAMの新たなフラッグシップモデル「LIVE DAM WAO! (ライブダムワオ)」を発売いたしました。本機は“歌うほど、あたらしいワオ”をコンセプトに、新たな演奏方式による重厚な音源を実現したほか、多数の本人映像を新たに搭載いたしました。また、新機能「ボイスマジック」や4本同時使用が可能な「クワトロハーモニーマイク」の導入により“歌う”という体験をアップデートし、コアなカラオケファンから、カラオケ初心者の方まで楽しめる機能を多数搭載いたしました。当期においては、テレビCMやSNSなど多様なメディアを通じて本機の拡販につながるプロモーションを行うことで、カラオケ利用者のすそ野の拡大を図るとともに、旧機種から新機種への入替えなどによるDAM1台あたりの収入増加に努めました。

エルダー市場においては、介護施設等への訪問営業やオンラインコンサートの実施などを通じて、エルダー市場専用機「FREE DAM LIFE (フリーダムライフ)」の拡販と、介護現場における職員の負荷軽減につながる機能を訴求することで、「歌うこと=健康」という認知拡大に努めました。

以上の結果、新商品発売に伴い、卸売を中心とした商品販売売上が増加したことなどにより、売上高は前期比4.8%の増収となり、営業利益は前期比2.1%の増益となりました。

(百万円)

	前期	当期	対前期増減	増減率
売上高	62,289	65,278	2,989	4.8%
営業利益	11,677	11,922	245	2.1%

(カラオケ・飲食店舗)

当事業におきましては、カラオケ10店舗、飲食20店舗の出店及びカラオケ8店舗、飲食12店舗の閉店を行ったことにより、当期末の店舗数はM&Aによる増加(カラオケ16店舗)を含め、カラオケ521店舗、飲食167店舗となりました。

店舗の集客は、前期に実施したリニューアルや「LIVE DAM WAO!(ライブダムワオ)」の早期導入などが奏功し、夏休みや年末年始といった商戦期を中心に、想定をやや上回る堅調な推移となり、当期の既存店売上高はカラオケ店舗で前期比4%増、飲食店舗で同2%増となりました。

このようななか、ビッグエコー店舗においては“BIG SMILE, BIG ECHO. 歌おう、笑おう、みんなともっと”をスローガンに掲げ、メーカー直営店としてカラオケ機器、音響設備のクオリティ向上に努めるほか、「ビッグスマイルキャンペーン」として多様なアーティストやアニメ作品とのコラボレーション企画等を積極的に展開し、カラオケを通して様々な喜びと楽しさの創出に努めました。

また、4月発売の「LIVE DAM WAO!(ライブダムワオ)」については、新たな機能をお客様にいち早く体感いただくため、早期に全店へ導入することで集客向上を図るとともに、“みんなで集まって、歌って楽しむ”というカラオケ本来の価値の訴求に努めました。

飲食店舗においては、前期に引き続き予約受注が好調に推移するなかで、お客様アンケートを通じて店舗環境、接客サービス、料理のクオリティ向上を図りました。また、ダーツ業態「REGALO」4店舗のほか、新たなブランドとして「蒸しと酒 みちる」や「炭火イタリアン ROBACE(ロバーチェ)」を出店するなど、幅広く集客の獲得を推進しました。

以上の結果、売上高は既存店での増収に加え、飲食店舗の出店による増収などの影響により、前期比6.7%の増収となり、営業利益は前期比4.5%の増益となりました。

(百万円)

	前期	当期	対前期増減	増減率
売 上 高	66,550	71,003	4,452	6.7%
営 業 利 益	6,345	6,633	288	4.5%

(音楽ソフト)

当事業におきましては、新人アーティストの発掘とヒット曲の創出に努めるとともに、カラオケを中心とする自社メディアを活用した音楽出版事業にも注力することにより、堅実な収益モデルの構築に努めました。

以上の結果、売上高は前期比1.7%の減収となり、営業利益は前期比56.9%の減益となりました。

(百万円)

	前期	当期	対前期増減	増減率
売 上 高	5,552	5,459	△93	△1.7%
営 業 利 益	325	140	△185	△56.9%

(その他)

当事業におきましては、新たな収益の柱とするべく「ザ・パーク」ブランドで展開するパーキング事業の業容拡大が進展し、当期末時点で約4,400施設、51,000車室となりました。また、「スターデジオAir」などで展開するBGM事業や、家庭用カラオケサービス「カラオケ@DAM」についても堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高はパーキング事業収入が増加したことなどにより前期比13.9%の増収となり、営業利益は前期比18.5%の増益となりました。

(百万円)

	前期	当期	対前期増減	増減率
売 上 高	18,627	21,208	2,581	13.9%
営 業 利 益	2,372	2,812	439	18.5%

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ11,128百万円増加し、220,445百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動資産では現金及び預金が6,891百万円、売掛金が1,033百万円及びその他に含まれる前払費用が1,319百万円それぞれ増加しております。

固定資産では建物及び構築物が9,472百万円、カラオケルーム及び飲食店舗設備が2,603百万円、土地が18,342百万円及びのれんが2,340百万円それぞれ増加し、建設仮勘定が32,201百万円減少しております。

負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べ3,642百万円増加し、95,096百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動負債では未払金が1,781百万円増加し、短期借入金が9,247百万円減少しております。

固定負債では長期借入金が10,554百万円増加しております。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べ7,486百万円増加し、125,349百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益による利益剰余金の増加15,889百万円、剰余金の配当による利益剰余金の減少5,924百万円及び自己株式の取得による減少1,884百万円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ6,891百万円増加し、48,475百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの概況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、税金等調整前当期純利益が23,636百万円、減価償却実施額が17,077百万円及び法人税等の支払額が7,952百万円等により、前連結会計年度に比べ439百万円増加し、25,096百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出が16,790百万円、有形固定資産の売却による収入が16,083百万円、無形固定資産の取得による支出が3,724百万円、映像使用許諾権の取得による支出が2,793百万円及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が4,207百万円等により、前連結会計年度に比べ404百万円減少し、11,041百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、長期借入れによる収入が11,140百万円、長期借入金の返済による支出が10,992百万円、配当金の支払額が5,927百万円、自己株式の取得による支出が1,884百万円等により、前連結会計年度に比べ13,705百万円減少し、7,196百万円となりました。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
	3月期	3月期	3月期	3月期	3月期
	期末	期末	期末	期末	期末
自己資本比率(%)	57.4	56.4	50.9	55.6	56.1
時価ベースの自己資本比率(%)	105.3	126.4	98.0	85.9	79.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	2.6	1.8	2.4	2.2	2.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	90.9	143.4	192.9	57.1	60.5

（注）自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

- 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
- 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
- キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。
- 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

今後の経済見通しにつきましては、雇用環境の改善や賃上げの動きの継続を背景に、個人消費を中心とした内需は緩やかな回復基調が見込まれます。一方で、海外での地政学リスクの高まりや為替相場の不安定感に加え、国内における物価上昇の影響など、先行きについては不透明な状況が続くものと予想されます。

国内カラオケ市場におきましては、介護施設などのエルダー市場におけるカラオケの需要は引き続き拡大することが見込まれるものの、既存市場であるナイト市場及びカラオケボックス市場においては概ね横ばいで推移するものと考えられます。そのなかで、各地域における需要は中心地への集中が進むほか、メーカー・流通・店舗といった各レイヤーでの再編や競争がより活発になるものと予想されます。

このような環境認識のもと、当社グループは、高い市場占有率を有する業務用カラオケ事業及びカラオケ・飲食店舗事業に経営資源を効果的に投入することにより、「DAM」及び「ビッグエコー」のブランド価値を高めることで、競争力及び収益力の強化に努めてまいります。また、成長事業であるパーキング事業におきましても、規模の拡大とともに収益力向上を図り、持続的な成長を目指してまいります。

業務用カラオケ事業におきましては、2025年4月に発売いたしました「LIVE DAM WAO!(ライブダムワオ)」の機能・コンテンツの訴求を通じて、カラオケボックス市場・ナイト市場への浸透を進めることで、DAM1台あたりの収益向上とともに、カラオケ利用者のすそ野の拡大、歌唱回数の上昇に努めてまいります。エルダー市場においては、エルダー市場専用機である「FREE DAM LIFE (フリーダムライフ)」の拡販を通じて、DAMの稼働台数増加を図るとともに、健康寿命の延伸や、介護施設職員の業務負荷軽減といった社会課題の解決にも貢献してまいります。

カラオケ・飲食店舗事業におきましては、これまで行ってまいりました一等地戦略をさらに推進し、リプレースも含めた人口集積地への出店により、収益力の強化を図ります。カラオケ店舗においてはメーカー直営店としてカラオケ機器、音響、美観といった設備面をさらに充実させるとともに、より質の高いサービスを提供し、顧客満足度の向上に努めます。飲食店舗においては顧客のニーズを捉えた新たなブランドの開発に注力するとともに、主力業態である個室ダイニングのほか、カラオケやダーツなどのアミューズメントを含めた幅広い客層の開拓に努めてまいります。

音楽ソフト事業におきましては、新人アーティストの発掘とヒット曲の創出に努めるとともに、音楽出版事業にも注力することにより、堅実な収益モデルの構築に努めてまいります。

成長事業として注力しておりますパーキング事業におきましては、M&Aを含む新規施設開拓を進め、さらなる事業規模の成長を図るとともに、不採算施設の改善・整理を通じて収益力の向上に努めてまいります。

また、当社は2026年2月に本社機能を移転いたしました。これまで3か所に分散しておりました本社を1か所へ集約したことで、部門間のコミュニケーションをより活性化し、生産性の向上と新たなイノベーションの創出を実現し、企業価値向上に努めてまいります。

以上を踏まえ、次期の業績につきましては、売上高1,687億円、営業利益185億円、経常利益189億円、親会社株主に帰属する当期純利益122億円を見込んでおります。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、当面は日本基準を採用することとしております。今後につきましては国内他社のIFRS(国際財務報告基準)採用動向を見極めつつ、IFRS適用の検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	41,949	48,841
受取手形	39	7
売掛金	5,948	6,982
棚卸資産	13,769	14,023
その他	5,989	7,540
貸倒引当金	△153	△185
流動資産合計	67,543	77,209
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,289	24,017
減価償却累計額	△9,600	△8,855
建物及び構築物 (純額)	5,689	15,162
カラオケ貸貸機器	57,664	62,749
減価償却累計額	△48,053	△52,363
カラオケ貸貸機器 (純額)	9,610	10,386
カラオケルーム及び飲食店舗設備	51,592	56,557
減価償却累計額	△37,696	△40,057
カラオケルーム及び飲食店舗設備 (純額)	13,896	16,499
土地	34,940	53,282
建設仮勘定	32,316	114
その他	9,274	10,157
減価償却累計額	△6,770	△7,242
その他 (純額)	2,504	2,914
有形固定資産合計	98,958	98,361
無形固定資産		
のれん	5,094	7,435
その他	5,887	6,137
無形固定資産合計	10,982	13,572
投資その他の資産		
投資有価証券	7,044	6,429
長期貸付金	361	663
繰延税金資産	7,435	8,570
再評価に係る繰延税金資産	175	-
敷金及び保証金	14,684	14,772
その他	2,247	959
貸倒引当金	△115	△94
投資その他の資産合計	31,833	31,301
固定資産合計	141,773	143,235
資産合計	209,316	220,445

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,885	2,375
短期借入金	12,443	3,196
未払金	9,717	11,498
未払法人税等	4,752	5,097
契約負債	972	1,100
賞与引当金	1,272	1,073
その他	2,946	3,009
流動負債合計	35,990	27,351
固定負債		
長期借入金	41,128	51,682
繰延税金負債	25	137
役員退職慰労引当金	635	623
退職給付に係る負債	8,169	9,291
資産除去債務	1,873	2,078
その他	3,631	3,931
固定負債合計	55,463	67,744
負債合計	91,454	95,096
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,350	12,350
資本剰余金	4,211	4,211
利益剰余金	108,490	106,897
自己株式	△10,571	△1,195
株主資本合計	114,481	122,263
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,867	1,492
土地再評価差額金	△558	△158
為替換算調整勘定	148	191
退職給付に係る調整累計額	394	△148
その他の包括利益累計額合計	1,851	1,376
新株予約権	464	462
非支配株主持分	1,065	1,246
純資産合計	117,862	125,349
負債純資産合計	209,316	220,445

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	153,020	162,950
売上原価	99,262	106,771
売上総利益	53,757	56,179
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	1,605	2,214
販売促進費	1,918	1,918
荷造運送費	714	714
役員報酬	1,070	1,113
役員退職慰労引当金繰入額	118	121
給料及び賞与	14,619	15,164
賞与引当金繰入額	976	752
退職給付費用	571	707
賃借料	1,076	1,158
減価償却費	642	765
支払手数料	2,269	2,735
その他	10,226	10,893
販売費及び一般管理費合計	35,811	38,261
営業利益	17,945	17,917
営業外収益		
受取利息	32	64
受取配当金	176	216
受取手数料	164	174
受取保険金	234	113
受取協賛金	161	311
受取補償金	562	47
為替差益	0	-
その他	507	496
営業外収益合計	1,839	1,425
営業外費用		
支払利息	425	446
為替差損	-	31
支払手数料	35	35
解約違約金	28	37
助成金返還損	653	-
支払和解金	63	311
その他	183	215
営業外費用合計	1,389	1,076
経常利益	18,396	18,265

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	4,415	7,663
投資有価証券売却益	1,380	330
特別利益合計	5,796	7,994
<b>特別損失</b>		
固定資産処分損	219	211
減損損失	1,061	2,412
特別損失合計	1,280	2,624
税金等調整前当期純利益	22,911	23,636
法人税、住民税及び事業税	7,353	8,249
法人税等調整額	△2,658	△696
法人税等合計	4,694	7,553
当期純利益	18,217	16,082
非支配株主に帰属する当期純利益	38	193
親会社株主に帰属する当期純利益	18,178	15,889

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	18,217	16,082
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	401	△374
土地再評価差額金	175	-
為替換算調整勘定	△39	43
退職給付に係る調整額	74	△542
その他の包括利益合計	610	△874
包括利益	18,828	15,208
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	18,789	15,015
非支配株主に係る包括利益	38	193

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	12,350	4,211	96,350	△6,571	106,340
当期変動額					
剰余金の配当			△6,038		△6,038
親会社株主に帰属する当期純利益			18,178		18,178
自己株式の取得				△3,999	△3,999
自己株式の処分					-
自己株式の消却					-
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					-
土地再評価差額金の取崩					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	12,140	△3,999	8,140
当期末残高	12,350	4,211	108,490	△10,571	114,481

	その他の包括利益累計額				
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計
当期首残高	1,466	△733	188	320	1,240
当期変動額					
剰余金の配当					
親会社株主に帰属する当期純利益					
自己株式の取得					
自己株式の処分					
自己株式の消却					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					
土地再評価差額金の取崩					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	401	175	△39	74	610
当期変動額合計	401	175	△39	74	610
当期末残高	1,867	△558	148	394	1,851

	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	374	1,035	108,991
当期変動額			
剰余金の配当			△6,038
親会社株主に帰属する当期純利益			18,178
自己株式の取得			△3,999
自己株式の処分			-
自己株式の消却			-
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動			-
土地再評価差額金の取崩			-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	89	30	730
当期変動額合計	89	30	8,871
当期末残高	464	1,065	117,862

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	12,350	4,211	108,490	△10,571	114,481
当期変動額					
剰余金の配当			△5,924		△5,924
親会社株主に帰属する当期純利益			15,889		15,889
自己株式の取得				△1,884	△1,884
自己株式の処分			△39	140	100
自己株式の消却			△11,119	11,119	-
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		0			0
土地再評価差額金の取崩			△399		△399
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	0	△1,593	9,375	7,782
当期末残高	12,350	4,211	106,897	△1,195	122,263

	その他の包括利益累計額				
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計
当期首残高	1,867	△558	148	394	1,851
当期変動額					
剰余金の配当					
親会社株主に帰属する当期純利益					
自己株式の取得					
自己株式の処分					
自己株式の消却					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					
土地再評価差額金の取崩					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△374	399	43	△542	△475
当期変動額合計	△374	399	43	△542	△475
当期末残高	1,492	△158	191	△148	1,376

	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	464	1,065	117,862
当期変動額			
剰余金の配当			△5,924
親会社株主に帰属する当期純利益			15,889
自己株式の取得			△1,884
自己株式の処分			100
自己株式の消却			-
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動			0
土地再評価差額金の取崩			△399
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1	180	△296
当期変動額合計	△1	180	7,486
当期末残高	462	1,246	125,349

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	22,911	23,636
減価償却費	14,786	17,077
のれん償却額	536	532
減損損失	1,061	2,412
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△30	△12
受取利息及び受取配当金	△208	△280
支払利息	425	446
為替差損益 (△は益)	30	△32
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,380	△330
固定資産処分損益 (△は益)	△4,196	△7,452
助成金返還損	653	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△125	△918
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,543	△204
カラオケ貸貸機器の売上原価振替	270	76
前渡金の増減額 (△は増加)	925	△241
仕入債務の増減額 (△は減少)	△430	△1,571
未払金の増減額 (△は減少)	△632	△151
その他	797	200
小計	32,850	33,185
利息及び配当金の受取額	208	278
利息の支払額	△431	△415
助成金の返還額	△653	-
法人税等の支払額	△7,316	△7,952
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,656	25,096
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△34	△10
定期預金の払戻による収入	57	10
有形固定資産の取得による支出	△15,055	△16,790
有形固定資産の売却による収入	9,489	16,083
無形固定資産の取得による支出	△3,709	△3,724
映像使用許諾権の取得による支出	△2,256	△2,793
投資有価証券の売却による収入	1,837	530
投資有価証券の取得による支出	△802	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△4,207
貸付けによる支出	△237	△517
貸付金の回収による収入	194	261
敷金及び保証金の差入による支出	△817	△598
敷金及び保証金の回収による収入	321	326
その他	△433	388
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,445	△11,041

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△310	487
長期借入れによる収入	780	11,140
長期借入金の返済による支出	△11,316	△10,992
配当金の支払額	△6,038	△5,927
自己株式の取得による支出	△3,999	△1,884
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△1
その他	△17	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,901	△7,196
現金及び現金同等物に係る換算差額	△30	32
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,721	6,891
現金及び現金同等物の期首残高	49,306	41,584
現金及び現金同等物の期末残高	41,584	48,475

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、本社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、本社に商品・サービス別の事業本部等を置き、各事業本部等は、取り扱う商品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業本部等を基礎とした商品・サービス別のセグメントから構成されており、「業務用カラオケ事業」、「カラオケ・飲食店舗事業」、及び「音楽ソフト事業」の3つを報告セグメントとしております。

「業務用カラオケ事業」は、業務用カラオケ機器の販売、賃貸及び通信カラオケの音源・映像コンテンツの提供を行っております。「カラオケ・飲食店舗事業」は、カラオケルーム及び飲食店舗の運営を行っております。「音楽ソフト事業」は音楽・映像ソフトの制作、販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。

資産については、事業セグメントに配分していません。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽 ソフト	計				
売上高								
外部顧客への売上高	62,289	66,550	5,552	134,392	18,627	153,020	—	153,020
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	62,289	66,550	5,552	134,392	18,627	153,020	—	153,020
セグメント利益 (営業利益)	11,677	6,345	325	18,348	2,372	20,721	△2,775	17,945
その他の項目								
減価償却費	9,028	2,440	22	11,492	1,395	12,887	133	13,021
のれんの償却額	—	—	—	—	536	536	—	536

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、パーキング事業、不動産賃貸及びBGM放送事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,775百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結 財務諸表 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽 ソフト	計				
売上高								
外部顧客への売上高	65,278	71,003	5,459	141,741	21,208	162,950	—	162,950
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	65,278	71,003	5,459	141,741	21,208	162,950	—	162,950
セグメント利益 (営業利益)	11,922	6,633	140	18,696	2,812	21,508	△3,591	17,917
その他の項目								
減価償却費	9,138	3,260	42	12,441	1,738	14,179	154	14,333
のれんの償却額	—	—	—	—	532	532	—	532

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、パーキング事業、不動産賃貸及びBGM放送事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△3,591百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	1,113円36銭	1,196円01銭
1株当たり当期純利益	172円56銭	153円38銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	172円09銭	152円91銭

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	18,178	15,889
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	18,178	15,889
普通株式の期中平均株式数 (千株)	105,345	103,595
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数 (千株)	291	322
(うち新株予約権) (千株)	(291)	(322)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。